

# 1 結核対策事業

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律(以下「感染症法」という。)に基づき健康診断を実施し、患者の早期発見や発症予防に努めるとともに、発見された患者については早期治癒に向けての生活指導等を実施しました。

## (1) 結核登録状況

### ア 新登録患者数：(年次推移)

(各年累計)

区分 年	新登録患者数			罹患率(人口10万対)		
	全国	神奈川県	市	全国	神奈川県	市
平成29年	16,789	1,143	70	13.2	12.5	9.75
平成30年	15,590	1,024	60	12.3	11.2	8.35
令和元年	14,460	987	57	11.5	10.7	7.9
令和2年	12,739	808	53	10.1	10.7	7.3
令和3年	11,518	748	47	9.2	8.1	6.5

令和3年は概数

### イ 全登録者数：(年次推移)

(各年12月31日現在)

区分 年	全登録者数			登録率(人口10万対)		
	全国	神奈川県	市	全国	神奈川県	市
平成29年	39,664	3,028	190	31.3	33.1	26.5
平成30年	37,134	2,774	140	29.4	30.3	19.4
令和元年	34,523	2,546	143	27.4	27.7	19.8
令和2年	31,551	2,319	132	25.0	25.1	18.3
令和3年	27,752	1,996	118	22.1	21.6	16.3

令和3年は概数

### ウ 活動性全結核登録者数：(年次推移)

(各年12月31日現在)

区分 年	活動性全結核登録者数			有病率(人口10万対)		
	全国	神奈川県	市	全国	神奈川県	市
平成29年	11,097	734	48	6.74	7.50	6.69
平成30年	10,448	690	36	8.26	7.52	4.98
令和元年	9,695	637	40	7.68	6.92	5.53
令和2年	8,640	543	40	6.85	5.88	5.53
令和3年	7,744	509	38	6.17	5.51	5.23

令和3年は概数

工 活動性分類別・新登録患者数

(各年累計)

区 分	活 動 性 結 核						潜在性 結核 感染症 (別掲)	
	総 数	肺 結 核 活 動 性				肺外結核 活動性		
		総 数	喀痰塗抹 陽性	その他の 結核菌 陽性	菌陰性・ その他			
平成 29 年	70	59	28	24	7	11	31	
平成 30 年	60	49	26	21	2	11	19	
令和元年	57	42	23	16	3	15	23	
令和 2 年	53	40	23	12	5	13	26	
令和 3 年	47	40	23	12	5	7	34	
(再掲) 内 訳	20 歳未満	0	0	0	0	0	0	0
	20～29 歳	6	6	1	5	0	0	4
	30～39 歳	4	3	2	0	1	1	3
	40～49 歳	6	5	3	1	1	1	2
	50～59 歳	2	2	2	0	0	0	4
	60～69 歳	8	7	4	3	0	1	5
	70 歳～	21	17	11	3	3	4	16

オ 活動性分類別・年齢階級別年末現在登録者数

(令和 3 年 12 月 31 日現在)

年齢階級別	年 末 現 在 登 録 者 数									潜在性 結核 感染症 (別掲)	
	総 数	活 動 性 結 核						不活動 性結核	活動性 不明		
		総 数	肺 結 核 活 動 性			肺外結 核活動 性					
総 数	118	38	32	19	10		3	6	42	38	42
(再掲) 内 訳	20 歳未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	20～29 歳	13	5	5	0	5	0	0	2	6	5
	30～39 歳	8	2	2	2	0	0	0	2	4	5
	40～49 歳	13	5	4	3	1	0	1	5	3	4
	50～59 歳	12	1	1	1	0	0	0	8	3	2
	60～69 歳	15	9	8	6	2	0	1	2	4	7
	70 歳～	57	16	12	7	2	3	4	23	18	18

## (2) 定期健康診断

感染症法に基づき、結核患者の早期発見のため、胸部エックス線検査を受ける機会のない65歳以上の人を対象に市民結核健康診断を実施しました。

年度	胸部エックス線検査受検者数
平成29年度	1,704
平成30年度	1,694
令和元年度	1,564
令和2年度	934
令和3年度	842

## (3) 接触者健康診断

感染症法に基づき結核患者の家族や接触者に胸部エックス線検査やIGRA検査等を実施し、感染者の発見と発病予防、発病者の早期発見及び感染源の把握に努めました。

また、事業所や施設等において結核患者が発生した場合には、状況を調査し、接触者に対する健康診断の実施結果報告を求めました(令和3年度は、8か所(病院3か所、福祉施設2か所、事業所等3か所)を対象に訪問調査を実施)。

受診者数	健診内容(延)				健診結果			医療機関紹介の受診結果				
	胸部エックス線検査	ツベルチン反応検査	喀痰検査	IGRA検査	異常なし	医療機関紹介	要観察	結核治療開始	LTBI治療開始	IGRA陽性要観察	その他	未受診
289	62	34	1	275	272	7	10	0	6	0	1	0

## (4) 結核患者管理指導

結核患者の早期治療に向けて、各種情報を集約し病状把握に努めるとともに、療養上の支援を行いました。

### ア 管理検診

結核登録者に対して、結核の予防または医療上必要があると認めるとき、感染症法に基づき精密検診を実施し、病状経過の把握に努めました。

受診者数	検診内容(延)		検診結果		
	胸部エックス線検査	喀痰検査	異常なし	医療機関紹介	要観察
34	34	0	34	0	0

イ 結核定期病状調査

結核登録者のうち、病状把握の困難な者については、医療機関等から報告を受け、病状等を把握し、訪問指導等の結核対策の迅速化と円滑化を図り、結核の再発や二次感染の防止に努めました。

報告件数 56 件

ウ 結核患者保健指導

入院や通院治療をしている結核登録者に対し、面接または訪問を行い患者本人の治癒に向けた服薬指導を行いました。また、本人や家族等から正確な情報収集を行い、適切な対象に健診が実施できるよう努めました。

指導内訳(延人数)				
訪問	電話	面接	文書	会議
136	1,720	89	996	479

(5) 結核患者の服薬支援(地域DOTS事業)

結核患者が確実に抗結核薬を服用することにより、結核のまん延を防止するとともに、多剤耐性結核の発生を予防することを目的に結核患者の服薬支援を行いました。

ア 訪問服薬支援員制度・薬局DOTS制度

訪問服薬支援員制度として、市に登録している看護師等が結核患者の自宅を訪問し、服薬確認を行いました。薬局DOTS制度については、市に登録している薬局に結核患者が通い、薬剤師が服薬確認を行います。

訪問服薬支援員制度及び薬局DOTS制度による支援患者数	
訪問服薬支援員制度	薬局DOTS制度
1人(延べ 6回)	6人(延べ 30回)

イ DOTSカンファレンス

結核患者の服薬支援計画についての評価・検討を定期的(1回/月)に実施することにより、より良い服薬支援につなげ、治療完了率の向上を図ることに努めました。

カンファレンス件数 延べ 110 件(10 回/年)

DOTSカンファレンスの内訳(件)			
登録・退院後 1 ヶ月	登録後 4 ヶ月	LTBI 登録後 1 ヶ月	LTBI 登録後 4 ヶ月
67	55	33	29

ウ コホート検討会

結核患者の治療成績を分析するとともに、患者支援の評価・見直しを行い、地域DOTS体制の推進を図ることを目的として、喀痰塗抹陽性患者を対象に検討会を開催し、結果については関係機関に還元しました。

コホート検討会の内訳(件)			
コホート検討	死亡事例	失敗事例	脱落事例
15	10	0	4

エ 結核対策評価会議

結核患者の治療成績の分析及び支援方法の評価を踏まえ、事業全体の評価と見直しを行い、地域の結核対策全般に関する課題検討を行います。

(6) 感染症診査協議会(結核診査部会)

感染症法に基づき、委員8名で構成し、市長の諮問に応じ、結核患者に対する指定医療機関への入院勧告、就業制限及び医療費の公費負担の申請に関する必要事項を審議しました。

公費負担については、一般結核患者(37条の2)は厚生労働省令で定める医療に要した費用の95%を、入院患者(37条)については医療費の全額を負担しました。

医療費負担区分別公費負担申請件数(感染症法第37条の2)

(各年累計)

区分 年	種別	総数	被用者保険		国民健康保険	後期高齢 者医療	生活保護法	その他
			本人	家族				
平成29年	申請	137	53	9	43	19	12	1
	承認	136	53	9	42	19	12	1
平成30年	申請	101	31	1	27	34	7	1
	承認	101	31	1	27	34	7	1
令和元年	申請	120	35	3	29	48	5	0
	承認	120	35	3	29	48	5	0
令和2年	申請	101	35	4	22	35	5	0
	承認	101	35	4	22	35	5	0
令和3年	申請	112	35	4	25	42	6	0
	承認	112	35	4	25	42	6	0

当該年中に合否の決定がなされたものを計上

感染症法に基づく入院勧告による入院患者数及び公費負担申請(感染症法第 37 条)件数

年	区分	入院患者数		公費負担申請件数 (各年累計)
		(各年累計)	(各年末現在)	
平成 29 年		31	5	98
平成 30 年		25	6	77
令和元年		25	2	67
令和 2 年		23	8	61
令和 3 年		24	2	69

当該年中に入院勧告を行った又は公費負担申請のあったものを計上  
33 日間を超える入院が必要な場合は、感染症診査協議会で予め最大 30 日間の入院期間延長の決定をした上で、公費負担の継続申請の手続きが必要となる。

(7) 結核予防啓発事業

結核に対する正しい知識の普及を図り、結核のまん延を未然に防止するため、各種予防啓発事業を実施しました。

ア 結核予防週間

毎年 9 月の最終週が厚生労働省により結核予防週間に定められ、市ホームページへの記事掲載、職域保健との連携、ポスターの配布等を通じて、啓発事業を行いました。

イ 複十字シール運動

財団法人結核予防会が主催している複十字シール運動に協力し、パンフレットの配布を行いました。

ウ 研修会

社会福祉施設向け研修会

例年、市内の福祉施設等の職員を対象に、結核に対する正しい知識の普及啓発を図るため、研修会を実施していますが、令和 3 年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止としました。

医療従事者研修会

例年、結核の現状、課題及び治療の知識等を深めることにより、市内の結核医療に従事する医療機関、施設等の関係者を対象に研修会を実施しました。

エ 外国人無料なんでも相談会

例年、さがみはら国際交流ラウンジ運営機構主催の外国人無料なんでも相談会(無料結核検診)にて神奈川県結核予防会と連携し健康相談等を実施していますが、令和 3 年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止としました。

## 2 感染症対策事業

感染症法に基づき、感染症発生時には、その類型に応じ、患者等の人権の保護に配慮し、積極的疫学調査、健康診断、その他必要な措置の迅速な対応に努めました。また、感染症発生の状況及び原因の調査を行い、感染症の発生の予防及びまん延の防止を図るとともに、感染症対策の効果的な実施を図るため、感染症発生動向調査を実施しました。

### (1) 感染症発生届出状況 (年次推移)

(各年累計)(令和3年は暫定数)(件数)

年	区分	計	二類(結核除く)					三類				
			急性灰白髄炎	ジフテリア	呼吸器症候群	重症急性	(H5N1) 鳥インフルエンザ	(H7N9) 鳥インフルエンザ	コレラ	細菌性赤痢	腸チフス	パラチフス
平成29年	全県	289	0	0	0	0	0	0	17	3	2	267
	市	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8
平成30年	全県	317	0	0	0	0	0	0	15	2	0	300
	市	10	0	0	0	0	0	0	2	0	0	8
令和元年	全県	201	0	0	0	0	0	1	3	6	2	189
	市	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11
令和2年	全県	178	0	0	0	0	0	0	3	1	1	173
	市	10	0	0	0	0	0	0	1	0	0	9
令和3年	全県	254	0	0	0	0	0	0	0	0	0	254
	市	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7

令和3年に相模原市保健所への四類感染症の届出は、E型肝炎4件、つつがむし病1件、レジオネラ症6件の合計11件でした。

五類感染症(全数把握対象)は、アメーバ赤痢7件、ウイルス性肝炎1件、カルバペネム耐性腸内細菌感染症12件、クロイツフェルト・ヤコブ病1件、劇症型溶血性レンサ球菌感染症1件、後天性免疫不全症候群6件、侵襲性インフルエンザ菌感染症1件、侵襲性肺炎球菌感染症7件、梅毒12件、百日咳1件、水痘(入院例)1件の合計50件でした。

### (2) 感染症診査協議会(感染症診査部会)

感染症診査協議会では、感染症患者に対する入院勧告及び入院期間の延長、就業制限に関する必要事項を審議しました。

開催回数 103回

### (3) 感染症患者等保健指導

本人・家族・社会福祉施設等から正確な情報収集を行い、感染症の予防やまん延防止に努めました。

指導内訳(延人数)			
訪問(調査)	電話	面接	文書(メール)
17	280	15	252

#### (4) 学校等におけるインフルエンザによる学級閉鎖等状況

県の「インフルエンザ防疫対策実施要領」に基づく調査について、新型コロナウイルス感染症の感染状況に鑑み、実施しませんでした。

#### (5) 感染症予防啓発事業

感染症の予防やまん延防止等を目的として、感染症に関する正しい知識の普及啓発を行いました。

- ・ 広報さがみはらに記事を掲載

#### (6) 感染症発生動向調査事業

感染症の発生予測及び予防対策の効果的な実施を図るため、感染症の発生の状況、動向及び原因の調査を行い、関係機関に情報の提供を行いました。

- ・ 全数把握対象疾患：一～四類感染症全て、新型インフルエンザ等感染症、五類感染症のうち 24 疾患及び指定感染症の計 90 疾患
- ・ 定点把握対象疾患(指定医療機関からの届出)：五類感染症のうち 25 疾患  
患者定点：33 医療機関、病原体定点：7 医療機関、疑似症定点：3 医療機関

#### (7) 新型コロナウイルス感染症対策事業

新型コロナウイルス感染症の拡大防止や陽性患者等への適切な医療体制確保、各協力医療機関への支援等を目的とし、各種事業を実施しました。

##### ア 相談体制の構築

新型コロナウイルス感染症に関する相談センターを設置し、各種問合せや相談に対応しました。(設置日:令和2年11月2日)

##### 【相談件数】

名称	件数
新型コロナウイルス感染症相談センター	94,549 件

##### イ 検体採取・検査実施関連業務

感染症法第 15 条第 3 項の規定に基づき、医療機関等で採取された検体の回収を行い、市衛生研究所において PCR 検査を実施しました。

#### 【検体採取】

検体採取機関	採取件数
拠点診療外来	1,837 件
行政検査契約締結医療機関	121,655 件
相模原市医師会PCR検査センター	880 件

#### 【検体回収】

医療機関の負担軽減、迅速な検査につなげるため、外部業者に委託し、各医療機関からの検体回収を行いました。

#### 【衛生研究所における検査実施】

検査人数	16,812 人
検査件数	16,823 件

#### ウ 積極的疫学調査・健康観察・入院調整等

患者が発生した場合に、患者やその周辺者から過去の行動歴の聞き取りを行い、濃厚接触者の特定や検査等への調整を行いました。陽性者については、必要に応じて健康観察を行い、体調の状態に応じて、入院等の調整を行いました。

#### エ 陽性者の公表・市民周知

市ホームページにおいて、毎日、発生した陽性者の報道発表や累計陽性者数の周知等を行いました。

・令和3年度公表者数 40,992 人

#### オ 軽症者宿泊療養施設の運営

令和2年4月20日から、旧北里大学東病院の元看護師寮を借用し、神奈川モデルの一環として相模原宿泊療養施設の運営を行いました。

・令和3年度累計入所者数 443 人

#### カ 患者移送等業務

令和2年5月14日から、相模原市防災協会へ委託し、陰圧車によって、陽性者や疑似症患者の移送を行いました。また、令和3年5月1日から、新型コロナウイルス感染症病床の確保を目的として、民間業者を活用し、転院等搬送業務を行いました。

・令和3年度移送件数 673 件

#### キ 市内医療機関に対する支援

新型コロナウイルス感染症に関する協力医療機関へ、各種補助金を交付しました。

#### 【新型コロナウイルス感染症患者等入院協力事業補助金】

新型コロナウイルス感染症患者等の入院を受け入れた医療機関に対し、補助金を交付しました。

・令和3年度支払実績 対象 21 医療機関

【新型コロナウイルス感染症回復患者転院受入医療機関支援補助金】

新型コロナウイルス感染症患者の回復期にある患者の転院を受け入れる医療機関に対し、補助金を交付しました。

- ・令和3年度支払実績 対象 8 医療機関

【新型コロナウイルス感染症に関する医師派遣事業補助金】

新型コロナウイルス感染症患者の入院受入れを行っている医療機関へ医師の派遣を行う医療機関に対し、補助金を交付しました。

- ・令和3年度支払実績 対象 10 医療機関

【拠点診療外来運営医療機関支援事業補助金】

市の依頼に応じて診療、検査等を柔軟に行っている拠点診療外来運営医療機関に対し、補助金を交付しました。

- ・令和3年度支払実績 対象 4 医療機関

令和3年10月1日付けで帰国者・接触者外来運営医療機関支援事業補助金より名称変更

ク 新型コロナウイルス感染症予防啓発事業

福祉事業所等を対象に、新型コロナウイルスに関する内容のオンライン研修を実施しました。

- ・令和3年度実施状況

実施期間 令和3年12月28日(火)～令和4年2月28日(月)

参加事業所 155 事業所

( 8 ) 新型コロナウイルスワクチン接種事業

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、国の方針に基づき、新型コロナウイルスワクチン(以下「ワクチン」という。)接種の推進に向けた様々な取組を実施しています。

本市では、令和3年2月から医療従事者への接種が始まり、令和3年4月から市民への接種を開始しました。

ア 接種状況

(ア) 年齢別

令和3年2月18日～令和4年3月31日

	対象者数(人)		接種者数(人)			接種率(%)		
	1.2回目	3回目	1回目	2回目	3回目	1回目	2回目	3回目
5～11歳	41,066	-	2,874	159	-	6.9%	0.3%	-
12～19歳	50,280	50,280	40,082	39,237	1,484	79.7%	78.0%	2.9%
20歳代	78,286	78,286	63,798	62,930	16,091	81.4%	80.3%	20.5%
30歳代	82,623	82,623	67,231	66,599	17,569	81.3%	80.6%	21.2%
40歳代	111,725	111,725	92,405	91,871	34,841	82.7%	82.2%	31.1%
50歳代	104,177	104,177	96,263	95,918	60,446	92.4%	92.0%	58.0%
60歳代	80,580	80,580	72,269	72,081	60,731	89.6%	89.4%	75.3%
70歳代	91,136	91,136	84,813	84,611	78,380	93.0%	92.8%	86.0%
80歳代	44,832	44,832	46,269	46,096	41,781	103.2%	102.8%	93.1%
90歳代	8,604	8,604	8,609	8,547	7,309	100.0%	99.3%	84.9%
100歳以上	285	285	296	293	247	103.8%	102.8%	86.6%
年齢不詳・ 死亡者等	-	-	4,380	4,015	221	-	-	-
総数	693,594	652,528	579,289	572,357	319,100	83.5%	82.5%	48.9%

(イ) ワクチン別

令和3年2月18日～令和4年3月31日 (人)

種類	1回目	2回目	3回目
ファイザー	498,930	495,021	154,824
モデルナ	77,372	77,066	164,276
アストラゼネカ	113	111	0
ファイザー(小児)	2,874	159	-

イ 接種体制の構築

ワクチン接種の実施に必要な事項については、医療関係団体(市医師会、市病院協会、市薬剤師会)と協議を重ねて決定しています。

ウ 専用コールセンターの設置

Web予約が困難な者の予約受付、クーポン券(接種券)の再発行受付、接種に関する相談窓口、医療機関からの連絡窓口等を一元化した専用コールセンターを令和3年3月に設置し、予約受付や各種問合せに対応しています。

予約受付時の混雑緩和を図るため、令和3年5月27日に音声ガイダンスに対応した電話番号を設置、同年6月17日に60回線から100回線へ増設、また令和4年1月6日には3つの電話番号を追加しました。

・専用コールセンター受電件数：496,029件(令和3年度実績)

## エ 1・2回目接種の実施（12歳以上）

### （ア）接種体制

令和3年4月12日から、医療機関で実施する個別接種、市が設置する会場で実施する集団接種及び高齢者施設等への訪問接種により、順次接種を実施しています。

### 個別接種協力医療機関数及び集団接種会場数（総数） 令和4年3月31日現在

実施方式	緑区	中央区	南区	合計
個別接種	55	74	90	219
集団接種	9	5	7	21

### 訪問接種実施施設数（総数） 令和4年3月31日現在

項目	高齢者施設等	障害者施設
施設数	267	11

### （イ）接種推進の取組

#### a 一元化した予約管理

予約システムを活用し、集団接種及び個別接種の予約管理を一元的に実施することで、予約の際に市民が予約枠の空き状況を把握できるとともに、市が予約状況に応じた接種体制の見直しや、余剰ワクチンの発生を防ぐ効率的なワクチン管理を行っています。

#### b 高齢者優先集団接種会場の設置

75歳以上の高齢者の接種機会を確保するため、桜美林大学プラネット淵野辺キャンパスに優先会場を設置し、電話予約のみで受付し、接種の促進を図りました。

#### c 集団接種会場無料送迎バスの運行

集団接種会場である国民生活センター及び津久井中央公民館まで、無料送迎バスを往復運行しました。

・実施期間：令和3年7月5日から同年7月31日まで

・無料送迎バス利用件数：延べ1,219人

#### d インターネット予約支援の実施

予約を取ることが困難な者に対し、予約支援専用会場を4か所設け、インターネット予約の入力支援を行いました。

・実施期間：令和3年6月17日から同年7月21日まで 予約件数：872件

#### e 優先接種の実施

国が定める接種順位（医療従事者等の優先）とは別に、新型コロナウイルスへの感染による身体的影響や社会的影響が大きいと判断した者について優先接種を実施しました。

職種	1回目接種者数	2回目接種者数
保育士等	4,045	4,043
教職員等	3,227	3,221
児童クラブ職員等	184	184
柔道整復師等	216	206
妊婦とその家族	1,268	1,179
受験生	614	614
合計	9,554	9,447

f チャイルドコーナーの設置

グッディプレイス相模原及び小田急ホテルセンチュリー内 8 階会場で授乳やおむつ替え等ができる「チャイルドコーナー」を設置しました。

g 障害者を対象とした接種会場の設置

障害のある者が安心して接種を受けられるよう、市立障害者支援センター松が丘園に専用の集団接種会場を設置し、接種の促進を図りました。

- ・設置期間：令和3年9月8日から同年10月13日まで（6日間）
- ・接種者数：1回目260人、2回目260人

h 夜間接種の実施

若い世代への接種を促進するため、駅から近い集団接種会場4か所で、午後8時までの夜間接種を実施しました。

i キャンセル待ち接種希望者による接種の実施

予約のキャンセルによる余剰ワクチンの廃棄防止のため、キャンセル待ち接種希望者を募集し、余剰ワクチンが発生した場合に接種を実施しました。

j 予約無し接種の実施

空き予約枠を活用し、当日、予約の受付をしていない者に対し、接種を実施しました。

- ・実施期間：令和3年10月11日から同年10月22日まで 接種人数：710名

オ 3回目接種の実施（12歳以上）

1・2回目接種の課題を踏まえ、3回目の接種の加速化と利便性向上に向けた取組を実施しています。

(ア) 接種体制

令和3年12月4日から、1・2回目接種と同様に個別接種、集団接種及び訪問接種により、順次接種を実施しています。

個別接種協力医療機関数及び集団接種会場数（総数）

令和4年3月31日現在

実施方式	緑区	中央区	南区	合計
個別接種	57	72	85	214
集団接種	6	3	4	13

## 訪問接種実施施設数(総数)

令和4年3月31日現在

項目	高齢者施設等	障害者施設
施設数	267	10

## (イ) 接種推進の取組

## a 「日時・会場指定方式」の実施

高齢者の予約負担を軽減するため、令和3年7月までに2回目接種を終えた高齢者のうち、希望者には、市があらかじめ、接種日時と会場を指定することで予約を不要とする「日時・会場指定方式」により接種を実施しました。

・指定人数：87,154人

## b インターネット予約支援体制の拡充

予約支援会場を4会場から9会場に増設し、支援が必要な期間を確保しました。

・実施期間：令和4年1月22日から同年3月27日まで 予約件数：1,674件

## c 優先接種の実施

学校・保育所等におけるクラスターを防ぐため、小中学校教職員・保育士等の優先接種を実施しました。

職種	3回目接種者数
保育士等	2,786
教職員等	717
児童クラブ職員等	193
合計	4,345

## d 当日予約接種の実施

令和4年3月11日から、集団接種会場の空き予約枠を有効活用した当日予約を実施し、接種当日の受付終了時間まで予約を受け付け、接種を実施しています。

・接種者数：616人(令和4年3月31日現在)

## カ 小児(5~11歳)接種の実施

令和4年3月9日から、医療機関で実施する個別接種により、接種を実施しています。

## 個別接種協力医療機関数

令和4年3月31日現在

項目	緑区	中央区	南区	合計
医療機関数	11	24	24	59

## キ 広報・情報発信

接種会場や予約スケジュールなどの情報発信を行っています。

媒体	主な実施方法	概要
電子媒体	市ホームページ	ワクチン接種に係る全体的な情報提供
	予約受付専用 Web サイト・LINE	予約情報等に関する情報提供
	保健所メール	
紙媒体	広報さがみはら	ワクチン接種に係る全体的な情報提供
	地域情報誌	予約情報等に関する情報提供
その他	エフエムさがみ、市広報番組（ぞっこん！相模原）、ひばり放送、テレビ神奈川自治体データ放送 等	

## ク 予防接種証明書(ワクチンパスポート)の発行

令和 3 年 7 月 26 日から、本人等の申請に基づき、予防接種証明書を交付するとともに、同年 12 月 20 日からは、スマートフォン用アプリ（マイナンバーカードが必要）により電子証明書を即時交付しています。

- ・紙面による交付：4,914 件
- ・アプリによる電子交付：35,518 件（令和 4 年 3 月 31 日現在）

## ケ 医療機関への支援金給付

### （ア）新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業支援金

住民接種に係る体制を確保するため、個別接種及び訪問接種での接種実績に応じて、市内の医療機関へ支援金を給付しています。

- ・給付医療機関数：216 か所（令和 3 年度実績）

### （イ）集団接種会場への時間外・休日の医療従事者派遣支援金

集団接種体制を確保するため、休日や時間外へ医師等を派遣した医療機関へ支援金を給付しています。

- ・給付医療機関数：48 か所（令和 3 年度実績）

## コ 健康被害救済制度

予防接種後の副反応による健康被害については、極めて稀ではあるものの不可避的に生じるものであることから、接種に係る過失の有無に関わらず迅速に救済することとしています。

市長は、予防接種法第 15 条の規定により、ワクチンを接種したことにより健康被害が生じたと厚生労働大臣が認めた者について、救済給付を行います。

国への認定申請に当たっては、相模原市予防接種問題協議会の調査報告を申請書に付して国へ進達します。

救済給付に係る費用は、予防接種法附則第 7 条第 3 項の規定により、国が負担します。

ワクチン接種に係る健康被害救済制度申請

令和4年3月31日現在

主訴	件数
アナフィラキシー	3
その他	8

### 3 性感染症予防対策事業

人権や社会的背景に配慮しつつ、HIV感染症(エイズ)等の性感染症の拡大の抑制と患者が安心して療養生活を送れる環境づくりのために、正しい知識の普及啓発、相談・検査体制及び患者等の支援の充実、性感染症対策を推進するための体制整備に努めました。

#### (1) HIV(エイズ)相談・検査

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、通年で実施している火曜日、月2回土曜日(無料、匿名)のHIV(エイズ)相談・抗体検査については中止とし、月1回の平日即日検査(無料、匿名)のみ実施しました。また、患者・感染者及びその家族や感染に不安を持つ者に対して電話での随時相談については実施しました。

ア HIV(エイズ)相談・検査実施状況 (人)

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
相談	919	1,035	920	15	120
検査	491	542	485	0	116

#### (2) 性感染症相談・検査

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、通年で実施している火曜日、月2回土曜日(無料、匿名、HIV(エイズ)と同時実施)の性感染症相談・抗体検査については中止とし、月1回の平日即日検査(無料、匿名)のみ実施しました。また、検査項目は梅毒のみ実施しました。

ア クラミジア相談・検査実施状況 (人)

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
相談	857	886	765	0	0
検査	448	468	401	0	0

ウ 梅毒相談・検査実施状況 (人)

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
相談	853	937	821	0	125
検査	454	496	432	0	116

### (3) HIV(エイズ)予防啓発事業

HIV(エイズ)及び性感染症は、正しい知識を持つことや、適切な性行動の選択ができることが予防につながります。そこで、性に関する意思決定や行動選択に係る能力が形成過程にある青少年に対し、市内の中学校や高等学校で講演会を実施しました。

なお、例年行っている世界エイズデーにあわせて行うハイリスク層を対象とした相談・検査については新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とし、HIV及び梅毒の即日検査(無料、匿名)のみ実施しました。

#### ・性感染症予防講演会の開催

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、オンライン等を用いての開催

対 象	回 数	人 数
中学生	18回	2,377人
高校生	6回	1,166人

### (4) HIV(エイズ)対策の推進に向けた体制整備

市民のニーズに応じたHIV(エイズ)対策を総合的かつ効果的に実施するために、マンパワーの充実とともに、保健医療、福祉、教育、NPO、市民等の協力連携の推進に努めました。

### (5) エイズ対策特別促進事業

例年行っている教職員や医療従事者等に行っている講演会については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止としました。

## 4 肝炎対策事業

B型・C型肝炎ウイルス感染に不安を持つ者に対して電話や面接での随時相談に加え、無料でB型・C型肝炎ウイルス検査を実施しました。

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
検査件数	86	102	99	56	37

## 5 予防接種事業

### (1) 定期予防接種

感染のおそれがある疾病の発生及びまん延を防止するため、予防接種法に基づき、定期の予防接種を実施しました。

< 定期予防接種の種類 >

ジフテリア、破傷風、百日せき、ポリオ(急性灰白髄炎)、麻しん、風しん、日本脳炎、BCG、ヒトパピローマウイルス感染症(子宮頸がん)、Hib感染症、小児の肺炎球菌感染症、水痘、B型肝炎、ロタウイルス及び高齢者インフルエンザ、高齢者の肺炎球菌感染症、風しんの追加的対策にかかる風しん抗体検査並びに風しん第5期定期予防接種

#### ア 乳幼児等予防接種

乳幼児、小中学生等を対象に、協力医療機関(141箇所)で予防接種を実施しました。また、協力医療機関以外のかかりつけ医療機関等での予防接種に対して、費用の全部または一部を助成しました。

区分	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	計画数	延接種者数								
計	129,932	129,637 (208)	123,947	129,481 (276)	128,629	122,363 (277)	124,013	128,447 (722)	134,726	118,440 (863)
四種混合	20,872	20,590 (38)	19,733	20,513 (51)	20,254	19,480 (49)	18,287	19,227 (137)	18,500	18,198 (119)
三種混合	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0
二種混合	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
麻しん	3,528	3,803	3,981	4,387	4,159	4,242	4,405	4,668	5,000	4,087
風しん	5,239	5,139 (2)	4,773	5,189 (4)	5,521	4,866 (1)	4,402	4,780 (3)	4,470	4,478 (3)
日本脳炎	5,125	5,375 (1)	5,557	5,427 (1)	5,115	5,366 (2)	5,061	5,220 (1)	5,490	5,155 (4)
麻しん混合										
風しん	0	0	0	1	0	2	0	0	3	0
日本脳炎	0	0	0	2	0	0	0	0	3	0
BCG	13,768	17,467 (3)	13,841	17,766 (9)	13,602	16,540 (7)	13,723	17,090 (11)	14,390	8,756 (5)
不活化ポリオ	7,949	5,774	8,981	5,879	9,706	5,653 (1)	8,292	5,766	8,710	2,737
子宮頸がん予防	5,234	5,025 (8)	4,773	5,073 (7)	5,219	4,763 (8)	4,402	4,801 (26)	4,500	4,459 (17)
ヒブ	779	426	566	154	342	11	71	6 (1)	10	1
小児用肺炎球菌	22	14	9	41	28	87	43	508	900	1,717 (2)
水痘	20,583	20,309 (54)	19,264	20,091 (69)	19,721	18,591 (72)	17,441	19,483 (171)	18,500	18,100 (193)
B型肝炎	20,693	20,372 (54)	19,290	20,186 (69)	19,826	19,143 (74)	17,466	19,001 (170)	18,500	18,045 (191)
ロタウイルス	10,423	9,930 (4)	9,427	9,934 (12)	9,739	9,620 (2)	9,046	9,631 (8)	9,500	9,011 (10)
	15,701	15,413 (44)	13,752	14,838 (54)	15,397	13,999 (61)	13,034	14,016 (147)	14,000	13,381 (163)
							8,340	4,250 (47)	12,250	10,315 (156)

\* 延接種者数の( )は、助成金制度の実施者数(内数)

\* 延べ接種者数には、区域外接種者を含む

イ 高齢者予防接種

< インフルエンザ予防接種 >

高齢者を対象に、協力医療機関等(337 箇所)で高齢者インフルエンザ予防接種を実施しました。

区分	平成 30 年度		令和元年度		令和 2 年度		令和 3 年度	
	対象者数	接種者数	対象者数	接種者数	対象者数	接種者数	対象者数	接種者数
65 歳以上の方	181,494	73,994	183,527	79,537	184,821	111,890	187,231	93,983
60 歳以上 65 歳未満の心臓、じん臓若しくは呼吸器の機能又はヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に高度の障害を有する方	身体障害者 手帳 1 級 交付者数 307	146	身体障害者 手帳 1 級 交付者数 307	133	身体障害者 手帳 1 級 交付者数 305	169	身体障害者 手帳 1 級 交付者数 284	127
合計	181,801	74,140	183,834	79,670	185,126	112,059	187,515	94,110

< 肺炎球菌感染症予防接種 >

高齢者を対象に、協力医療機関等(282 箇所)で高齢者の肺炎球菌感染症予防接種を実施しました。

区分	平成 30 年度		令和元年度		令和 2 年度		令和 3 年度	
	対象者数	接種者数	対象者数	接種者数	対象者数	接種者数	対象者数	接種者数
65,70,75,80,85,90,95,100 歳の方*	41,555	12,946	27,941	5,722	28,154	7,577	28,876	6,094
60 歳以上 65 歳未満の心臓、じん臓若しくは呼吸器の機能又はヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に高度の障害を有する方	身体障害者 手帳 1 級 交付者数 307	0	身体障害者 手帳 1 級 交付者数 307	2	身体障害者 手帳 1 級 交付者数 305	0	身体障害者 手帳 1 級 交付者数 284	0
合計	41,862	12,946	28,248	5,724	28,459	7,577	29,160	6,094

\* 65 歳以上の対象者数は年度の 4 月 1 日現在の住民基本台帳人口

\* 令和元年度より、過去に接種履歴のある者を除いて対象者数を算出

ウ 風しんの追加的対策にかかる風しん抗体検査並びに風しん第 5 期定期予防接種

昭和 37 年 4 月 2 日～昭和 54 年 4 月 1 日生まれの男性を対象に、風しん抗体検査並びに風しん第 5 期定期予防接種を実施しました。

< 対象者数 > 令和元年度 99,151 人

令和 2 年度 92,800 人

令和 3 年度 79,726 人

区分	抗体検査実施数	予防接種実施数	合計
令和元年度	6,448	1,473	7,921
令和2年度	13,941	2,978	16,919
令和3年度	7,594	1,699	9,293

## (2)任意予防接種

予防接種法に規定のない任意の予防接種について、次のとおり実施しました。

### ア 風しん予防接種促進事業

先天性風しん症候群の発生防止を目的として、協力医療機関(179 機関)で風しん抗体検査及び予防接種を実施し、費用の一部を助成しました。

#### <対象者>

妊娠を予定または希望する女性、妊娠を予定または希望する女性の配偶者、妊婦の配偶者

区 分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	対象者数	接種者数	対象者数	接種者数	対象者数	接種者数	対象者数	接種者数
抗体検査	1,251	1,660	4,431	1,284	1,636	740	538	661
予防接種	636	610	2,326	893	1,131	738	578	696

\*対象者数は、予算積算で使用したもの。